T721Z086H01〈2026-06〉

形　名	形名コード
RMC-10	67C668

MITSUBISHI ELECTRIC

電気給湯機用 給湯専用リモコン

形名
RMC-10

※リモコンは当社電気給湯機専用です。
※適用機種は、当社カタログ・給湯機の据付工事説明書に記載してあります。

据付工事説明書 （販売店・工事店様用）
工事完了後、本書をお客様へお渡しください。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みください。据付工事は販売店または専門業者が施工してください。

安全のために必ずお守りください

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。

指示に従う　必ず電源ブレーカーを「切」にしてから行う
感電の原因になります。

1. 付属品の確認

木ねじ 〈4.1×25〉	Mねじ 〈M4×40〉	Y型端子 〈1.25-B3A〉
2本	2本	2個

2. 工事に必要な工具、部材

●工事前に準備ください。

工具	市販品、注意事項等
Y型端子用圧着工具	日本圧着端子製造株式会社製 YHT-2210（JIS C9711規格品）
接続端子用圧着工具	株式会社ニチフ製 NH11
ドライバー（＋　2番）	電気ドライバー及びインパクトドライバーなどは使用禁止です。

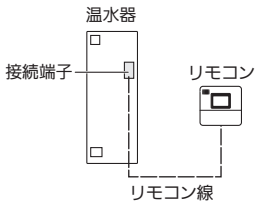
部材	当社別売部品形名
リモコン線 ※	LM-620B（20m）またはLM-650B（50m）
圧着端子	市販品（必要に応じて使用）
オールプラグ	市販品（必要に応じて使用）

※リモコン線は、当社別売部品（形名：LM-620BまたはLM-650B）を設置条件に合わせて切断してご使用ください。

3. 接続概要図

リモコン線と電気温水器の接続方法は、電気温水器に付属の据付工事説明書をご覧ください。

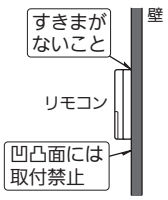
- 既設のリモコン線を使用する場合も、当社リモコンケーブル相当品（より線2心線、導体断面積0.3 ～ 1.65mm²、絶縁体外径2mm以下、67.6Ω/km以下）としてください。また、リモコンと接続しない不要な分岐配線は残さないでください。
- 3心以上の多心線は使用しないでください。余分な心線が他機器通信に使用されている場合だけでなく、未使用状態で放置している場合でも誤作動の原因になります。
- 必ず、電気温水器からリモコンまでの配線長を20m以内としてください。
- 本体1台に複数のリモコンは接続できません。



4. 取付場所の選定

- **必ず平らな壁面に取り付けてください。（凹凸があるとリモコンが変形して誤動作することがあります。）**
- リモコン線の長さには制限があります。接続概要図（3項）を参照し、設置場所を選定してください。
- **必ず屋内に取り付けてください。防水タイプではありません。**
- 取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側）を選んでください。
- 下記の場所には取り付けないでください。
  ○ガステーブルの近くなど高温（45℃以上）になるところ　○湿気の多いところ　○直射日光のあたるところ
  ○幼児の手が届くところ　○湯気、水しぶきや油のかかるところ（防水タイプではありません。）

5. 施工上のお願い



●リモコン本体を分解しないでください。
●リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上におかないでください。スピーカー部(左上)に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。
●リモコンと壁の間にすきまがないように取り付けてください。
●リモコン線の断線、短絡等が無いことをテスターで確認してください。200V電源ブレーカーの電源レバーを「入」にする前に実施してください。不具合が発生した場合、保証の対象外です。
●リモコン線は、周囲の熱による劣化を防ぐため、高温部に触れたり、熱の影響を受けたりしないところに配線してください。
●リモコン線をコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管(PF管など)に収め、リモコン線が傷つかないようにしてください。
●リモコン線を接続後、過度にリモコン線を引っぱらないでください。(リモコンやリモコン線が破損するおそれがあります。)
●リモコン線の圧着(接続)時は、「2. 工事に必要な工具・部材」の記載をご確認いただき、適切な工具を使用してください。
また引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。
●リモコン線は、必ずケーブル押えで固定してください。端子部に直接外力が加わらないように確実に固定してください。
●リモコン線の心線接続部どうしは接触させないでください。
●リモコン線同士の中継をしないでください。誤作動の原因になります。
●リモコンの端子は無極性です。
●必ず、200Vと100V(制御用)の電源ブレーカーを「切」にしてから接続してください。
●リモコンをねじで固定する際、電気ドライバー、インパクトドライバーなどは使用しないでください。破損のおそれがあります。
●壁に穴を開けて設置する場合、穴端部の凹凸をならし、石膏ボードくず等をきれいに取り除いてからリモコンを設置してください。

6. リモコン取付工事

リモコン線を壁中に通す場合(埋込配線)

取付準備

①リモコン取付位置に埋込用スイッチボックス(1個用)を取り付けておく
②リモコン線を電気温水器まで配線しておく



(1)埋込用スイッチボックスから出ているリモコン線を付属のY型端子に圧着して、クランパー(1か所)に固定後、端子に接続する〈図1〉

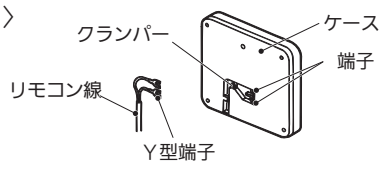
【お願い】●リモコン線が短絡しないように施工してください。

(2)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす
(3)ケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する〈図2〉

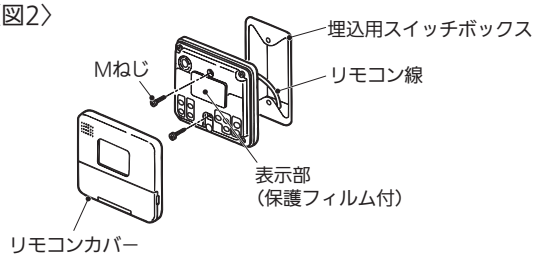
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取り付けてください。

(4)表示部の保護フィルムをはずす
(5)リモコンカバーをケースにはめる〈図2〉

〈図1〉



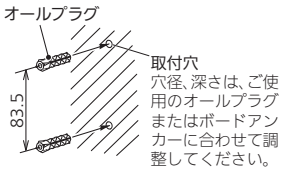
〈図2〉



壁面に取り付ける場合(露出配線)

取付準備

〈壁がコンクリートブロック、石膏ボードなどの場合〉
①オールプラグまたはボードアンカー用の取付穴(2か所)をあける
②取付穴にオールプラグまたはボードアンカーを打ち込んでおく



(1)ケーブル口をニッパーなどで切欠く〈図3〉
(2)リモコン線を付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコン線をクランパー(2か所)に止める〈図3〉

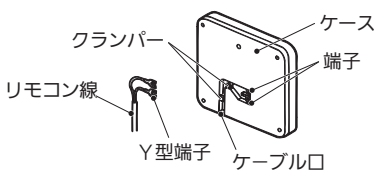
【お願い】●リモコン線が短絡しないように施工してください。

(3)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす
(4)ケースを木ねじ2本で壁に固定する〈図4〉

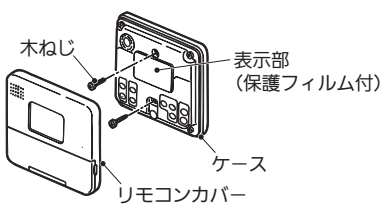
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取り付けてください。

(5)表示部の保護フィルムをはずす
(6)リモコンカバーをケースにはめる〈図4〉

〈図3〉



〈図4〉



三菱電機株式会社 静岡製作所群馬工場 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800